

Title	弔詞
Sub Title	
Author	
Publisher	三田史学会
Publication year	1923
Jtitle	史学 Vol.2, No.4 (1923. 11)
JaLC DOI	
Abstract	
Notes	
Genre	
URL	https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=AN00100104-19231100--003

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the KeiO Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

弔詞

法學博士田中萃一郎先生は八月十三日突然逝去せらる。

先生は慶應義塾大學教授として歴史を講ぜらるるや、私學に於てその研究の最も困難とする歴史學の發展を企圖せられ、さきに三田史學會を創設し、ついで雜誌『史學』を發刊して斯界に貢獻するところすこぶる大なりき。

先生は學識該博にして史學、政治學に造詣深く、識見卓抜にしてよく時事を批判し、人格高邁にして事を處する公平、義につよく、情にあつく、一世の師表としてわれら一同の欽仰するところなりき。本誌創刊以來ここに滿二年、基礎まさにならんとして先生の長逝に會ふこと、まことに柱石を失ふの感あり。たゞに本會の不幸たるのみならず、實に國家のために悲しみにたへず。いまや先生の高風を仰ぎ、その馨咳に接する能はずと雖も、われら一同先生の高志を仰ぎて相協力し、もつて本會の隆盛を期し、先生の英靈にこたへんと欲す。ここに聊か蕪辭をのべて、もつて弔詞とす。

大正十二年八月十六日